

フランス語学科		准教授	熊木 淳	大学院の授業担当 無
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	パワーポイントによるプレゼン形式の授業(映画専門大学院大学)	2011年～2013年	日本の商業アニメーション、中でも少年向けロボットアニメと少女向け魔法少女アニメがいかに並行的に発展しているかを概説した。作品の解説などを効果的におこなうために聴覚、視覚資料の鑑賞を交えた授業を行い、受講生たちに深い理解を促した。そうすることで個々の作品を歴史的な文脈に位置づける視点を提示し、最終的には受講生たちにそのような観点から各自作品やテーマを選択させ口頭発表を行わせた。	
2	フランス語文法の概説(早稲田大学)	2012年～2017年	所定の教科書(『システムティックフランス語文法』)を用い、フランス語の文法を一通り概説した。週2コマを費やしかなり集中的に教授した。対象となる受講生は学部一年でありみな初学者であるが、文字通りシステムティックに文法の構造を細かく教示し、また文法や語彙についての歴史的な視点も提示し、深い理解を促した。フランス語学習一年目で仏検準2級に合格するものも輩出しており、一定の成果は得られた。	
3	パワーポイントによるプレゼン形式の授業(尚美学園大学、清和大学)	2012年～2020年	日本ではほとんど紹介されていない20世紀のフランスを中心とした前衛詩の歴史的発展を概説した。作品の性質上、音声や映像を多用し、パワーポイントなどでそれらの作品の歴史的な文脈を明確にすることで、一見難解な作品の理解を促した。フランスだけではなく、日本の前衛詩についても積極的に言及し、相対的な視点も確保し、前衛詩が欧米のみで展開している現象ではなく、世界的に広がる運動でもあることを示した。	
4	フランス語初学者に対する会話の授業(少人数)および文法の概説(清和大学)(神田外語大学)	2012年～2020年	会話においては、こちらからヒントを与えながら繰り返し聞かせ、会話の内容を把握させる。また教科書に出てきた表現を用いて会話をおこなう。その際こちらは受講生の理解できないフレーズをしばしば用い、その際に理解できない、あるいはもう一度聞いてほしいなどのフレーズをいわせるようにする。このように何らかのかたちで会話をおこなえるようにする。文法に関しては繰り返し問題を解かせるかたちで文法を教授した。	
5	フランス語全般の授業(慶應義塾大学)	2013年～2020年	週2コマ、通年で文法事項は一通り教授するが、『Conversation et Grammaire』を用いて文法事項よりも会話を中心とした授業を行っている。習ったことをアウトプットするのではなく、習っていないことも積極的に盛り込んで短文の和訳を行いつつ、秋学期には全員に5分間の口頭発表をさせる。積極的に受講生達の参加を求めている。	
6	インターネットを使用した時事フランス語の授業(早稲田大学)	2016年～2020年	文法について一通り学習した2年生以降の受講生に時事フランス語の授業を行っている。教材はネット上の新聞記事を用い、主に辞書に掲載していない用語や概念についての調べ方を学習してもらう。授業中スクリーンにインターネットブラウザを投影し、実際に用語を検索しながら訳読を行う。場合によっては関連する内容のニュースやインタビューなどの動画(フランス語)を鑑賞しながらそれを解説する。	
7	パワーポイントによるプレゼンおよびレポートの執筆方法についての授業(慶應義塾大学)	2017年～	ミステリーにおける警察の表象というテーマでレポート執筆およびプレゼンによる発表の方法について指導を行った。Slackで授業および出欠管理を行い、授業外でも交流を持ちつつ、レポート執筆について指導し、プレゼンについては、スライドの見やすさ、問題提起→事例の提示→結論という基本的な構成などの観点から毎回誰かに発表をさせて指導している。またテーマの関係上、実際に映像作品などを鑑賞し、それを歴史的な文脈に位置づけ、解説も行っている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『聴くだけ! やさしいフランス語会話』(フランス語参考書)DHC総合教育研究所	2014年	小林拓也との共著。2枚組のCDを聴きながら実践的な会話の練習をするためのもの。特定の場面を想定しそこでよく使われる600のフレーズが収録されている。文法上の説明を極力排し、カタカナによる発音も添えてあるため、全くの初心者でも会話に活用できるように構成されている。	

フランス語学科		准教授	熊木 淳	大学院の授業担当 無
2				
3				
<b>3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等</b>				
1	平成23年度授業評価アンケート(映画専門大学院大学)	2011年	受講生たちの最高評価を得た。	
2	平成28年度後期授業評価アンケート(清和大学)	2017年	フランス語I(フランス語会話)の授業にて高評価を得た。	
3				
<b>4 その他教育活動上特記すべき事項</b>				
1	平成30年度フランス語教育国内スタージュ受講	2019年	フランス語教育能力向上のため受講した。	
2				
3				
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
2003年4月～現在		日本フランス語フランス文学会 会員		
2011年4月～現在		日本演劇学会		
2011年7月～現在		表象文化論学会		
2013年4月～2020年3月		日本比較文学会		
<b>その他</b>				
日本学術振興会 特別研究員奨励費、代表者:熊木淳、研究課題番号:08J02366 アントナン・アルトーにおける臨床的概念としての自我、および時間空間概念の変容(2008年度～2010年度)				
文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(C)、代表者:熊木淳、研究課題番号:15K02384 ベルナール・ハイツィックおよびフランス前衛詩における抒情性について(2015年度～2017年度)				
文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(C)、代表者:進藤久乃、研究課題番号:17K02610 第二次大戦後フランス文学における前衛の諸問題(研究分担者として)(2017年度～現在まで)				